

2005

9月号

# 川上ダム通信

発行者  
独立行政法人水資源機構  
川上ダム建設所  
〒518-0294  
三重県伊賀市阿保 251 番地  
TEL: 0595-52-1661 (代)  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

## ふれあいフェスティバル開催

8月23日(水)、川上ダム建設所主催イベント「地域との交流：ふれあいフェスティバル～みんなで学ぼう川上ダム～」を開催しました。

今回対象としたのは、移転地の方々や伊賀市商工会議所青山支部女性部の方々を中心とする地域の皆さんで、当日は悪天候にもかかわらず約80名にご来場いただきました。



オオサンショウウオについて勉強する子供たち

思い思いの巣箱や水鉄砲を作るなど楽しく工作をする姿が見られました。帰り際の小学生に尋ねると、巣箱は「夏休みの自由研究にする」と話していました。

今回は初の試みということもあり手探り状態での開催でしたが、帰る際に参加された一人一人が職員に対して「ありがとう」と声をかけていただいたのが励みになりました。【総務課 山口哲政】



巣箱を持って記念撮影



川上ダム事業説明会

午前中の事業学習会では、川上ダムが果たす役割の説明や写真を用いて建設所で働いている職員紹介を行いました。環境学習会では、オオサンショウウオ保護池でオオサンショウウオを見たり、その生態を勉強するなど、皆熱心に聞いていました。

午後からは建設所駐車場で模擬店や伊賀森林組合のご協力を頂き木工教室を行いました。木工教室では、テントに入りきれないほどの人で溢れかえり、



巣箱を作る子供たち

### 参加者の声

- ・ダムで働いている人のことなどが分かって良かった。(中学生女子)
- ・オオサンショウウオを実際に見るのは初めてだったけど、その大きさにびっくりしました。ダムができて生き残るように保護してほしいです。(中学生女子)
- ・子供たちは屋台の食事を喜んでいて、木工教室で作った巣箱も夏休みの工作として助かりました。(成人女性)

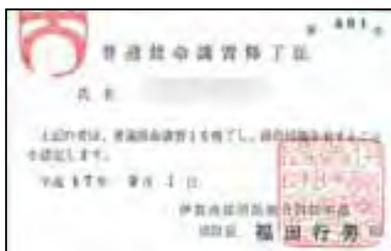
## 『普通救命講習修了証』を参加者全員が取得

～伊賀市商工会議所青山支部女性部の方も参加～

9月1日(木)この日は「防災の日」。川上ダム建設所では朝から本番さながらの防災避難訓練が執り行われ、午後からは地元伊賀南部消防組合の消防士の方々を講師に招き、『普通救命講習会』を行いました。普通救命講習会は、地域貢献と地域の連携強化を図る一環として伊賀市商工会議所青山支部女性部の方々にも講習会にご参加いただきました。

始めに消防士の方に、人工呼吸、心臓マッサージ、昨年から一般市民にも使用できるようになったAED(自動体外式除細動器)を使った一連の救命作業を指導していただきました。続いて、受講者が実際に作業を行い、最初は作業の手順や大きな声での確認を皆さん照れながら行っていましたが、次第に熱がこもって皆真剣そのものになってきました。最後

には一人一人が修了テストを行い、参加者全員が修了証をいただくことができました。これを習得すれば一人でも多くの人命を救えることができます。機会があればぜひ講習に参加してはいかがでしょうか。



普通救命講習修了証



講習を熱心に受ける参加者の皆さん



救命訓練を受ける伊賀市商工会の方

【第一用地課 富士澤誠】

## 第5回河川環境フェスティバル

～約400名の市民が参加～

8月21日(日)河川環境フェスティバル実行委員会(川上ダム建設所も委員として加入)主催の第5回河川環境フェスティバルが開催されました。このフェスティバルは、木津川の豊かな自然等を子々孫々まで残すべく河川の環境保全

のための啓発を目的として、毎年、伊賀市青山支所北側の木津川河川敷において開催されています。

当日は、時折、雨の降る天候でしたが、夏休み中の家族連れなど約400名の参加がありました。当日のイベントでは、環境に関するパネル展示、アユのつかみ取りが行われ、特に特設プールで行われたアユのつかみ取りは子供たちに好評でした。また、参加者はアユの塩焼きをおいしそうにほうばり、イベントを楽しんでいました。



アユの塩焼きを楽しむ参加者の皆さん



アユのつかみ取りに悪戦苦闘する子供たち

【第二用地課長 大竹敏博】

## 伊賀『にぎわいフェスタ』に参加

8月20日(土)、合併後初の伊賀市の一大イベント「市民夏のにぎわいフェスタ2005」が伊賀市の市街地で開催されました。川上ダム建設所では、アートバルーンの作成や子供向け名刺の作成、アンケート調査、パネルの展示を行いました。



アートバルーンは大人気

当日は時折、雨が降るあいにくの空模様でしたが、川上ダムのブースは正午あたりから多くの人でにぎわいました。アートバルーン作りのコーナーでは、職員に教わりながら風船でライオンやお花を作ったり、職員にリクエストして作ってもらう子供の笑顔が見られました。また、アンケートコーナーでは、約600名の方にご協力をいただきました。



にぎわいフェスタ2005

【通信記者 武村剛泰】

## 大田講師を招き、環境学習会を開催

平成17年8月29日(月)に川上ダム環境保全協議会における環境巡視員である大田崇委員を講師に迎え「青山の植物と遷移について」の環境学習会を実施しました。

植物の生活は、様々な環境要素(気候要素:日光・温度など、土地要素:土性・標高など、生物要素:植物・動物など)の影響を受けていることが

説明されました。そして、一年生草本 多年生草本 木本

(低) 木本(高)、そして長い年月を経て極相に至るという、遷移を考えて緑化を行うことが大切であると述べられました。

参加者は37名で、職員や工事業者のみならずシルバー人材センター、森林組合、商工会婦人部など地域の方にも参加いただきました。参加者からは、有意義であり今後も参加を希望する方が多く、川上ダム建設所では今後とも継続的に環境学習会を実施していきたいと考えています。【環境課長 野村孝芳】



大田崇講師

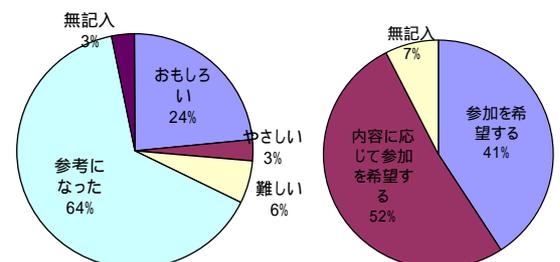


環境学習会を開催

### 参加者の声

- ・植物に対して初めて勉強させて頂きました。
- ・道路法面の種子吹付けに関して試験的に四季を通じた草花を吹付けたらどうか。
- ・次回は人工林についての説明を聞きたいです。

### 学習会に関するアンケート



1) 学習会の内容について

2) 今後の参加希望について

# 川上ダム建設所でダム現場を実習



実習の成果を発表する谷さん



修了証書の授与

8月16日(火)から26日(金)までの約2週間、川上ダム建設所環境課に神戸大学から谷さんが実習に来られました。最終日には、実習報告会にて実習の成果や感想を発表していただき、本実習を無事修了致しました。

## 実習を終えて

ここに来て、ダムに対する見方が大きく変わりました。ずっと下流域に住んでいたこともあり今まで視野がとても狭かったのですが、今回の実習で多くのことを見たり聞いたりすることで色々な方向からダムというものを見られた気がします。たった11日間という短期間でダムに対し僅かなことしか触れられなかったとは思いますが、とても大切な経験をさせて頂いたと思います。この実習で得たことを今後活かしていきたいです。

最後になりましたが、お世話になりました多くの方々へ感謝と御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

【教育実習生 谷 初】



実習報告会を終え、事務所前で記念撮影

## EVENT



### 第59回芭蕉祭

松尾芭蕉の文学的功績を称え遺徳を偲び、俳句大会や史跡参観、特別展などのイベントが催されます。

日時 / 10月12日(水) 10時~  
場所 / 上野公園俳諧殿広場前(伊賀市)

### 上野天神秋祭

400余年の伝統を持ち、伊賀上野の秋を彩る伊賀最大の祭です。国の重要無形民俗文化財である鬼行列とだんじり巡行はまるで絵巻物のような華やかさで、観客を夢の世界へと誘います。

日時 / 10月23日(日)~10月25日(火)  
場所 / 上野天神宮、伊賀市内、三筋町等

### ふれあいフェスタIN青山

農産物朝市、フリーマーケット、各種アトラクション、各種団体展示・販売を行います。

日時 / 10月30日(日) 9時~15時  
場所 / 青山北部公園(伊賀市青山支所近くのグラウンド)

## 編集後記

8月は、伊賀市のにぎわいフェスタを始め、河川環境フェスティバル、ふれあいフェスティバルと多くの行事に参加いたしました。

その中でも、ふれあいフェスティバルは、川上ダム建設所が主催する初めての行事であり、職員一同手探り状態のなかでの作業となりました。にもかかわらず、多くの方々に参加していただき、大変喜んでいただいたことに職員一同大変感謝しております。

広報誌発行事務局

編集長 恒吉 徹(川上ダム建設所長)  
デスク 上村 信幸(総務課長)  
" 二林 修(工務課長)  
通信記者 武村 剛泰(総務課)  
" 田中 幸志(工務課)